
ディプロマポリシー（DP）専門士授与の方針

■ 2021年度以降の入学生

全学科共通ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

本校を卒業する人材は、学則にある「工業分野における産業の発展に対応する情報処理、商業実務分野における実務教育と専門知識、教育・社会福祉分野における社会性と豊かな人間性、文化・教養分野における芸術性の素養と創造的技能並びに各分野に関連する専門技術についての教育を行い、有能な職業人、社会人の育成を通して、産業の振興と地域社会の発展に寄与する」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

本校では、産業界の将来的な人材ニーズを常に捉え、次に掲げる職業人として必要な能力を「ミライスキル」と定め、それらを育て、それら能力を有する者に対して卒業を認定する。

① **よりよい未来を想像し、実現するための知識や技術を有する人材**

産業界で求められる、人材像に向けて職業実践的な専門知識と技能。

※各学科において、具体的に求められる職業実践的な能力を定める。

② **互いの知識や技術を合わせて、未来のために解決していく力を有する人材**

多様な人々とともに、目標に向けて協働する力。

※「社会人基礎力」の「チームで働く力（チームワーク）」に該当する能力。

③ **未来に希望を持って、あきらめずに取り組む意欲を有する人材**

一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く考え抜き、取り組む力。

※「社会人基礎力」の「前に踏み出す力（アクション）」、「考え抜く力（シンキング）」に該当する能力。

本科は専門士の認定を受けている。卒業する学生は教育課程表において必須となる科目全ての成績において不可を認めていない。進級においても同様である。また、学納金に未納がないこと、学年における総欠課時限数が当該学年における年間消化時限数の15%以内であることも卒業・進級の認定基準とする。

本校のディプロマポリシーの基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。

グラフィックデザイン科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

【知識・技能】

本質を見定め、グラフィックデザインを問題解決のための手法の一つとして用いることができ、自身のイメージを具現化する表現技術を身につけている。

【思考・判断・表現】

従来の印刷物の枠にとらわれず、コンピュータ上で表現される、インタラクティブデザイン、ウェブデザインなどの「デザイン」を必要とする様々な場において、柔軟で的確な理解力、新鮮な発想力、多様な切り口と表現力、そして確かな技術と豊富な知識に裏付けされたアウトプットができる。

【関心・意欲・態度】

日々進化してゆく社会において、新しい知見や技術を貪欲に取り込み、積極的に表現へ還元させることができる。また、基本的な社会人としての自覚・姿勢を身に付け、相応の立ち振る舞いや周囲の人々と良好に協同することができる。

デジタルコンテンツ科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

【知識・技能】

課題解決のためのデジタル表現を中心とした表現技能と、業界標準の知識を身につけており、要望に応えるための自身のイメージを追求し、的確にアウトプットすることができる。

【思考・判断・表現】

クライアントの要望を柔軟かつ的確に理解し、または与えられた状況から課題を見つけ出して、ビジネス的視点と創造的なとらえ方で考察し、知識や技術を総合してかたちづくり提案することが出来る。

【関心・意欲・態度】

常に進化する業界動向や技術トレンドに高い情報感度を持ち、率先して吸収し糧とする。専門分野を担う気概に満ちた職業人としての自覚を持ち、周囲と調和した行動をとることができる。

CADデザイン科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

【知識・技能】

様々な分野のものづくりにおいて求められるデザイン・ものづくり知識・製図知識・モデリング技術・作図技術を有し、設計の流れを理解したうえ、後工程で修正可能なモデル作成ができる。

【思考・判断・表現】

周囲の環境、進捗具合や社会的責任等を総合的に判断して問題を発見し、解決案を提案しながら解決に導くことが出来る。

【関心・意欲・態度】

身の回りにあるものへ関心を示し、演習やグループ作業にも意欲的に取り組むことが出来る。学業や課外活動においても

自らをキャリアアップさせることができる。

メイク・ブライダル科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

【知識・技能】

多様化するお客様のニーズに応えられるよう、ヘア・メイク・ネイル・ブライダルの専門知識技術を身につける。語学やプレゼンテーションなど、プロフェッショナルとしての高い専門性とマルチに対応できる柔軟性や人間力を磨いていく。技術習得がゴールではなく、応用活用・発信できるまでを目標とする。

【思考・判断・表現】

美容従事者にふさわしい、所作やマナーが身についている。お客様視点や顧客満足意識を身につけ、プロとしての提案が出来る。現場を作業をイメージし、時間内で完成させる感覚や、流動する現場で不要、必要のジャッジや優先順位が判断できる。

【関心・意欲・態度】

ルールを守りながらも、自分で考え判断行動できる積極性を身に付けようとしている。次世代美容への強い関心及び物事へのチャレンジ精神を有し、学業や課外活動において自らをキャリアアップさせることができる。技術へのブラッシュアップを行いアップデートし続ける事が出来る。

AI×コンピュータ科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

<<プログラム選択>>

【知識・技能】

IoTと人間の感性が調和する高度情報社会の実現のために、プログラム開発・基本的なシステム開発の技術、AI技術の基本的な知識と技術、ネットワーク、セキュリティ、データベースなどについての深い知識を活用することができる。

【思考・判断・表現】

周囲の環境、技術者倫理や社会的責任等を総合的に判断して問題を提起し、組織に合わせた情報システム戦略が立案及び論理思考力を駆使して解決に導くことができる。

【関心・意欲・態度】

次世代情報技術への強い関心及び物事へのチャレンジ精神を有し、学業や課外活動において自らをキャリアアップさせることができる。

<<ITビジネス選択>>

【知識・技能】

I T 化が進むオフィスワークを想定し、情報システム、財務、法務、経営戦略等の幅広い知識の習得をし、さらにA I やネットワークなどのI T 活用スキルを身につけていきます。

【思考・判断・表現】

I C T プロフィエンスー検定試験などI T 系、ビジネス系資格に挑戦することで総合的なビジネススキルを磨き、現場での課題解決力を高めます。Ipad等を利用したのデモンストレーション、模擬実践を行い、企業活動を総合的に理解する力を身に付けます。

【関心・意欲・態度】

コミュニケーション能力の育成を目指してグループワーク、アクティブラーニングを取り入れ、プレゼンテーションにも強い人材を目指します。また、企業との連携授業によって身に付ける社会人基礎力の向上を図り、ICTを駆使して活躍する「ミライスキル」を身に付けます。

セキュリティネットワーク科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

【知識・技能】

サイバー空間とフィジカル空間が融合する高度情報社会の実現のための基盤となる、ITインフラの構築・運用技術、サイバーセキュリティ、リスクマネジメントなどについての深い知識を活用することができる。

【思考・判断・表現】

急速に発展する高度情報社会を取り巻く環境やコンピュータ技術、情報倫理や社会的責任等を総合的に判断して、社会が抱える問題を提起し、論理思考力を駆使して解決に導くことができる。

【関心・意欲・態度】

社会が抱える様々な問題を解決するために必要となる、次世代の情報技術への強い関心及び物事へのチャレンジ精神を有し、学業や課外活動において自らをキャリアアップさせることができる。

ゲームクリエイト科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

【知識・技能】

IT（情報技術）の知識、技術を基礎として、ゲーム制作の多様なワークフローを理解し、ゲーム開発に適したプログラミング技術を身に付け、時代に適応したゲーム開発ができる。

【思考・判断・表現】

ゲーム開発の現場で活躍できることを目標に、論理的な思考力を有し、スケジュールや人員など開発の状況を俯瞰的に判断ができる。併せて、円滑なコミュニケーションで、共に開発に携わる周囲の人々と協働できる。

【関心・意欲・態度】

ゲーム開発やIT技術のトレンドが日々変化する中で、それに対応した知識や技術の習得を積極的に行い、自ら常に研鑽する姿勢を有する。併せてゲーム以外の事象に対しても興味を持ち、幅広い知識を基礎に、ゲーム制作、あるいはそれ以外の社会問題の解決に、自分の技術を活かそうする姿勢を有する。

未来こども科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

【知識・技能】

幼稚園教諭及び保育士として必要な、幼児教育・保育に関する専門知識や技術、能力を身に付けている。

短期大学卒業認定科目、幼稚園教諭免許、保育士資格に関わる科目の単位を修得している。

【思考・判断・表現】

未来を担う子どもたちに関わる保育者として、社会人としての基礎的な能力、豊かな感性や想像力、人間性を備えている。常に子どもの最善の利益を第一に考えて行動できる。

【関心・意欲・態度】

自分が目指す保育者像を明確にもち、制度やニーズが変化していく中でも、常に自分の目標をもつことができる。

医療事務科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

【知識・技能】

医療機関において、事務という立場から医療機関を支えていくための保険請求などの深い知識と IT 化が進む医療現場で必要な IT 知識を併せ活用することができる。

【思考・判断・表現】

医療スタッフとして、患者様をチームで支える思いやりの心、また医療チームの一人として患者様に向き合う意識をもって仕事に取り組み、多様な問題解決に導く事ができる。

【関心・意欲・態度】

地域には欠かす事の出来ない医療機関において、事務という立場から医療機関を支える強い関心及び物事へのチャレンジ精神を有し、学業や課外活動において自らをキャリアアップさせることができる。

国際 IT・CAD 科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

【知識・技能】

様々な分野のものづくりにおいて求められる、ものづくり知識の習得により、設計図を作成するうえで必要な製図知識と、CADを駆使して正確かつスピーディーに作図する技術、機械制御による自動化についての知識を有し、活用することができる。

【思考・判断・表現】

アルゴリズムを論理的思考力により最適化し、適切な装置を用いて、自動制御における問題を解決することができる。一方、CADを駆使して見やすく、制作の意図が伝わる製図を描くことができるとともに、図面から作業指示を紐解いて理解することができる。

【関心・意欲・態度】

ものづくりへの強い関心及び物事へのチャレンジ精神を有し、学習したことを応用して、習得した技術のレベルアップにつなげる努力ができる。

国際観光・ビジネス科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

【知識・技能】

観光、教育業界の知識を軸に、高い日本語力とコミュニケーション能力を活用して、高度なサービスを提供することができる。

【思考・判断・表現】

自分に求められていることをとらえ、状況を判断して、相手の立場に立った振る舞いを行うことができる。自ら考え、自らの力で解決することができる。

【関心・意欲・態度】

観光、宿泊業界への関心を軸に、自国と日本、そして世界との関わりに興味を持ち、グローバルな視野を持って、積極的に関わるることができる。

国際介護福祉科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

【知識・技能】

国家試験介護福祉士の合格基準に達する介護の専門知識が習得できる。介護現場で利用者に安全、安心な介護・医療的ケアが提供できる。

【思考・判断・表現】

地域社会、介護現場の環境、利用者の状況に応じて、利用者の尊厳や権利を擁護することができる。介護福祉士としての倫理や社会的責任等を総合的に判断して問題を提起し、他者への配慮と客観的な論理思考力を用いて解決に導くことができる。

【関心・意欲・態度】

介護の職務への強い関心及び物事へのチャレンジ精神を有し、学業や課外活動において自らがキャリアアップすることができる。

■ 2019・2020年度の入学生

全学科共通ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

本校を卒業する人材は、学則にある「学校教育法に基づき、工業分野における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業分野における実務教育によるホスピタリティマインドを備えたビジネスパーソンの育成と、教育・社会福祉分野における実践教育を中心とした技術・知識教育による知性高く教養深い有能な職業人や社会人の育成を通して、地域社会の発展に寄与する」ことが教育目標であり、学科ごとの専門教育を学習し、以下の能力等を有している。

- 専門分野の職業人としての基本的技術・知識を習得し、社会のその分野の中で活用することができる。
- 職業人としての基礎力、判断力、キャリア教育等の基本的なスキルを身につけている。
- 様々な立場の人々と協働して、問題を発見し解決にあたることができる。

本科は専門士の認定を受けている。卒業する学生は教育課程表において必須となる科目全ての成績において不可を認めていない。進級においても同様である。また、学納金に未納がないこと、学年における総欠課時限数が当該学年における年間消化時限数の15%以内であることも卒業・進級の認定基準とする。

本校のディプロマポリシーのに基づき、各学科のディプロマポリシーを設定する。

セキュリティネットワーク科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

急速に発展、普及しているインターネットの世界では、重要な情報の漏えいや企業に対してのサイバー攻撃など様々な脅威にさらされている。情報の安全を確保するためには、ネットワーク社会を取り巻く脅威を知り、何をどのように守るかを正しく判断する必要がある。セキュリティネットワーク科では、情報セキュリティの基本である、情報の「機密性」「完全性」「可用性」を維持するための知識と技術を備えた人材の育成を目標とし、セキュリティエンジニアに必要とされる「セキュリティ」「ネットワーク」「ICT」の3分野のスキルをバランスよく学び、「セキュリティエンジニア」や「ネットワークエンジニア」、「サーバーエンジニア」として活躍するための基礎習得を卒業の条件としている。

● 情報セキュリティの知識と対策技術

サイバー攻撃の種類と仕組みとアプリケーションの機能別に見える脆弱性を正しく理解し、攻撃に対応した対策技術を学習することで、サイバー攻撃に強いシステム構築ができる。

● ネットワーク構築・運用技術

情報通信機器であるスイッチングハブやルーター、アクセスポイント、ファイアウォールを使った LAN 構築演習を通して、小

規模の LAN 環境の構成と構築、セキュリティ設定ができる。

- サーバー構築・運用技術

Web サーバー、メールサーバーなど各種サーバーに使われる Linux と Windows Server のセキュリティ設定を学習し、セキュリティを考慮したサーバー構築と管理を行うことができる。

コンピュータ科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

インターネットの普及により、今や仕事・教育・生活・遊びなど私たちの暮らしの隅々まで IT 技術は浸透している。特にビジネスの世界における IT の活用は、事務処理や営業活動、企業戦略や新規事業開拓の分野にまで及び、「新しい可能性」が常に模索されている。プログラムコースでは、その様な「新しい可能性」を発見・提案できる人材の育成を目標とし、コンピュータの基礎から学習をスタートし、「プログラミング」「ネットワーク・セキュリティ」「データベース」の IT3 大スキルをバランスよく学び、「システムエンジニア」や「プログラマー」「ネットワークエンジニア」として活躍するための基礎習得を卒業の条件としている。

- プログラム作成能力

C 言語によるプログラムの作成を通して、基本技術を養い、C#・Java 言語などのオブジェクト指向型プログラムを用いた実践的なシステム構築を行うことができる。

- データベース設計

データベースの基本操作を行う SQL 言語を中心に学習し、データの分析から設計、構築、またプログラム言語を用いた SQL の活用を行うことができる。

- ネットワーク構築運用

情報通信機器のトップメーカーであるシスコシステムズ社との提携カリキュラムを履修することで、その学習や実習を通じて高度かつ最先端技術を習得し、小規模 LAN の構築ができる。

ゲームクリエイト科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

任天堂やソニーに代表される世界的なゲーム開発企業を有する日本、ゲーム業界は、テレビゲームの黎明期よりハードウェア・ソフトウェア共に、一大産業として発展してきた。近年では、スマートフォンの普及により、ゲームに触れる人口が爆発的に増え、それに併せてゲームを制作する技術者もまた益々需要が高まっている。本校ゲームクリエイト科では、ゲーム業界が望む人材の育成を目標に掲げ、ゲーム制作に必要な「プログラミング技術」、コンピュータを利用して仕事をするために必要な「IT 知識と技術」、ゲーム制作を補助する「ゲームコンテンツ制作の知識と基礎技術」の習得を卒業の条件としている。

- ゲームプログラミング技術

ゲーム制作で用いられる、C,C++,C#などのプログラミング言語を学習し、それらを用いてゲーム制作をすることができる。

- IT 知識・技術

IT に関する知識や技術を、基本情報技術者試験取得レベルの教材をベースに学習し、ゲーム制作に活用することができる。

- ゲーム制作の知識・技術

ゲーム制作を補助するコンテンツ（キャラクタや背景の描画、3Dモデルの制作、ユーザインターフェースなど）や、ゲームの企画やゲームシナリオを制作できる。

CAD科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

ものづくり業界では幅広い分野でCAD技術が浸透している。特に機械設計においてCAD技術は企画から生産までものづくりの一連の流れ全てで活用されている。CAD科では、ものづくりのための基礎的知識や技術を身に付けた創造性豊かな機械技術者となるために、機械技術者として必要な基礎学力、技術革新に対応できる能力、実践的能力および問題解決能力を身に付ける。基礎から「ものづくりの知識」や「CAD技術」をバランスよく学び、「機械設計者」や「CAD技術者」として活躍するための基礎習得を卒業の条件としている。

- 機械知識

機械要素や機構の動作を理解した上で、設計に適した機能を有する機械要素および機構を選択でき、それらを組み合わせた機器の設計をすることができる。

- 材料知識

材料の性質を理解した上で、設計に適した材料やその加工法が選択でき、機器の設計をすることができる。

- CAD技術

2次元・3次元CADを使用して、後工程での修正が可能なモデル・製図を作成できる。

ビジネスライセンス科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

ビジネス分野において、業種・職種が多様化しており、知識を身に付けるだけでなく現場で活かす実践力が求められています。こうした状況を受けて、受動的ではなく能動的に自分を表現する力「個の能力」と協調性「組織力」が重要視されています。「ビジネスマナーの習得」「ビジネスソフトの活用」「ビジネス知識」の3つの柱を軸に、より高い教育により「資格取得」から「資格を活かす力」を育成し、「事務職」・「営業職」・「販売職」といった多様な職種で活躍するための基礎習得から実践として活かす能力が身につけることができたかを卒業の条件としています。

- ビジネスマナーの習得

ビジネスマナーの習得は、事務職や営業職において必要な能力で、社会に臨機応変に対応出来る能力が求められます。秘書や接遇の資格を通して学び、実践で電話対応や接客マナーの実演を通して、ビジネスマナーの強化を図り、接客する能力を身に付けることができます。

●ビジネスソフトの活用

ビジネスソフトの活用は、オフィス現場において必要不可欠な能力であります。コンピュータスキルを鍛えることで正確性・時間の効率化を図ることができ、即戦力としてビジネスの現場で活かすことができます。

●ビジネス知識

ビジネス知識は、事務職や営業職において必要な能力であります。商業分野であるFPや簿記会計やマーケティングの知識を学ぶことで、ビジネス現場で役立つコミュニケーション能力の構築を図ることができます。

医療事務科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

高齢化社会の到来は、医療技術の発達はもとより、病院経営や業務そのもの、さらには介護福祉制度や保険制度・補助金制度にまで大きな影響を与えています。それに伴い医療事務の業務も変化してきています。こうした状況を受けて、「医療」「情報」「ビジネス」の3つの柱を軸に、より質の高い教育により「知っている」から「できる」学生の育成をし、「医療事務」「調剤事務」「介護事務」として活躍するための基礎習得を卒業の条件としています。

●医療事務

医療事務とは、病院やクリニックなどの医療機関で患者様の対応をするだけでなく、医療費の計算をしたり保険者に診療報酬を請求したりする事務職の仕事です。患者様に優しい笑顔で応対できる接客スキルや、医療費の計算では正確性やスピーディな処理能力が行えます。

●調剤事務

調剤薬局で薬剤師のお仕事のサポートをおこなう事務職の仕事です。患者様の受付や会計、レセプト作成をおこなう他、処方箋のチェック、お薬手帳の発行、待合室などの環境整備などもできます。

●介護事務

介護サービス施設・事業所などに勤務する事務職の仕事です。通常の受付業務のほか、介護報酬請求業務（レセプト作成）や介護に関する手続きを行い、介護保険に関する専門知識も身につけています。

こども保育科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

乳幼児期は人格形成の土台を作る大事な時期である。そこにかかわる保育者は子どもにとって一番の環境であり、専門性だけでなく人間性が問われる。こども保育科では保育・幼児教育に関する専門的知識を学ぶ授業だけでなく、保育技術を学ぶ「演習授業」、実践力や応用力を身に付ける「ボランティア活動」や「実習」をより多く取り入れ、保育に関する専門的知識や技術を基礎として、人間性、豊かな感性や創造力、基礎力・実践力・応用力を備えた保育者育成を目指す。

標とし、「幼稚園教諭」「保育士」「保育教諭」として活躍するための基礎習得を卒業の条件としている。

また、「近畿大学九州短期大学」と提携し、通信教育によって単位を取得し、専門学校卒業と同時に短期大学の卒業資格も取得する。

- 幼児教育・保育に必要な専門性

幼稚園教諭及び保育士として必要な、幼児教育・保育に関する専門的知識や技術、能力を身に付けている。

- 豊かな人間性

未来を担う子どもたちに関わる保育者として、社会人としての基礎的な能力、豊かな感性や人間性を備えている。

- 保育者としての主体性

自分が目指す保育者像を明確にもち、制度やニーズが変化していく中でも、常に自分の目標をもつことができる。

- 短期大学卒業認定

短期大学卒業認定科目、幼稚園教諭免許、保育士資格に関わる科目の単位を修得している。

国際 IT ビジネス科 ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）

グローバル化が進展する中、国際社会において幅広く活躍することができる人材が求められ、企業からのニーズも拡大している。一方で、日本社会は深刻な人材不足に陥っており、国をあげて、外国人労働者の受け入れの拡大が取り組まれている。国際 IT ビジネス科では、日本人と外国人が共生する社会で活躍する人材育成を目標とし、「高度なコミュニケーション能力」「日本文化・社会への理解」「専門知識・技術」の3つの柱をバランスよく習得し、日本と海外の架け橋の役割を担うための基礎習得を卒業の条件としている。

- コミュニケーション能力

「知識」ではなく、「コミュニケーションツール」として活用出来る語学力を身に付けている。日本人学生は英語、外国人学生は日本語を高いレベルで習得している。

- 日本文化・社会への理解

多様化、複雑化する社会に柔軟に対応し、自分自身の目標を常にもつことができる。

- 専門知識・技術

製造業を目指す学生は、現場で活躍できる技術者となるための基礎知識と技術を身に付けている。観光業を目指す学生は、「おもてなし」の心を大切とした接客スキルを身に付けている。